

荒尾駅前における R7年度社会実験結果について

令和7年 5/28（水）～6/6（金）

1. 社会実験の目的及び仮説

目的

- 数年後の荒尾駅舎改修・駅前広場再整備に向けて、駅前における新たな活動の創出、駅前広場再整備に向けた基本計画の参考として、昨年度より社会実験を実施中。
- 今回はえきまち研究会で意見のあった“歩道上に日常的に使えるイス・テーブルがある”“テイクアウトした商品を飲食できるスペースがある”という場を日常的に設え、滞在時間の変化や休憩スペースとしての利用の可能性を検証したい。

仮説（確認したいこと）	計測方法	具体的な方法	評価指標
テーマA：歩行者への影響			
仮説1：歩道が十分確保され、歩行者が安全に通行できるか？ （歩道幅は2.0mで十分か、歩行者の動線は安全か・・・等）	①出店者アンケート ②目視 ③定点観測	①出店者アンケートを実施 ②アクティビティ調査の際に確認 ③イベント時のみ撮影	①危ない場面の有無（件） ②車道を歩く人の有無（件） ③①②と同様
仮説2：車両の駐車場の出入りに影響がないか？ （イス・テーブルが支障になっていないか）	①苦情の有無 ②目視確認	①駅周辺駐車場契約者からのクレームの有無 ②期間中における目視確認	①苦情の有無（件） ②目視による確認（件）
テーマB：活動の創出			
仮説3：平日、休日、イベント時における滞在空間が利用されるか/時間帯/目的/活動の特徴を把握する。 活動例）イス・テーブルで飲食、電車バス待ち、休憩、おしゃべり・・・等	①活動調査（目視） ②投票調査	①1時間に1回、イス・テーブルの利用状況を把握 ②シール投票	①利用者数（人）、活動数（%） ②利用目的ごとの投票数（%）
テーマC：活動の仕組みづくり			
仮説4：来訪者がイス・テーブル設置エリアを気に入ったか？	①投票調査	①シール投票	①来場者の満足度割合（%）
仮説5：イス・テーブル設置により周辺店舗の売上に効果があったか？	①出店者アンケート	①出店者アンケートを実施	①来客組数、売上の変化（%）
仮説6：今後の出店・関与の可能性 （新たな関係者の発掘、関わり方）	①出店者アンケート	①出店者アンケートを実施	①関与の可能性の有（%）
仮説7：スケジュールに基づき円滑に事務局業務を行えたか？ （時間を要した部分があったか）	①振り返り会	①振り返り会での意見交換	①前回からの改善点、課題の把握
仮説8：手続きに必要な資料のフォーマット化ができたか？	①振り返り会	①振り返り会での意見交換	①必要な資料の作成ができたか

2. 社会実験の概要

これまで得た 市民意見

- ・市民向けワークショップ
- ・駅前マルシェ
- ・えきまち研究会



駅西口で望まれる活動

- ・歩道上に日常的に座れるイス・テーブルがある
- ・テイクアウトした商品を飲食できるスペースがある

社会実験の検証事項

～確認したいこと～

- テーマA：歩行者への影響
- テーマB：活動の創出
- テーマC：活動の仕組みづくり

OR7 年度社会実験

主催：荒尾市 調査支援：UR都市機構

〇日時

- 5/28（水）～6/6（金） 11:00～17:00
【イス・テーブル設置時間】
- 5/31（土） 11:00～15:00
【シェアショップ出店時間】

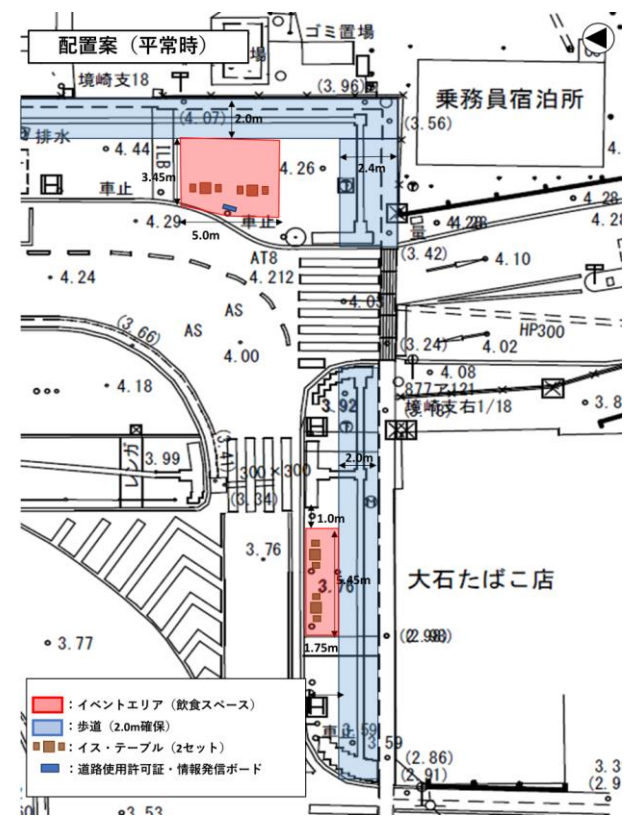
〇概要

今回はえきまち研究会で意見のあった“歩道に日常的に使えるイス・テーブルを置いてみる”“テイクアウトした商品を飲食できるスペース”を設えることにより、駅前での滞在時間の変化や休憩スペースとしての利用など、日常的な駅前広場の可能性を検証する。

〇結果

電車の到着時にあわせて調査を行った結果、テーブルに置いてあるシート調査への回答は見られたものの、日常時での利用はほとんど見られなかった。一方で、イベント時ではテイクアウトした商品を座って食べている様子やイス・テーブルの周りに人が集まり滞留するなど日常時とは違った賑わいを見ることができた。

〇エリア



3. 調査の概要（投票調査） ※仮説3、4の検証

テーブル上の投票シートにシールを貼る方法で調査を実施

まちの声、あつめてます。

「シールで作ろう！みんなのまちのカタチ」

荒尾駅前広場をよりよい場所にするために
あなたの声をお聞かせください！

QRでも大歓迎！



Q1. 今日どんな目的で駅前に来ましたか？

通勤・通学

ごはん

その他（散歩、休憩）



Q2. この場所のことを気に入りましたか？

気に入った！

びみょう...



ぜひQRコードからご意見をお聞かせください！！



10～20代



30～40代



50代以上

ご協力をお願いします！

●概要

(1)アクティビティ調査…アクティビティ調査票

【作業内容】

1時間に1回、下記の時間帯において調査を実施。

- ①調査票に名前・時間・天気・気温を記入
(気温についてはYahoo天気またはウェザーニュースより記入)
- ②設置されているイス・テーブル計4ヶ所における調査内容を記入
※特に駅やシェアショップとの関係についての気づきがあればメモ欄に記載
- ③10分間のうち1回、デジカメで写真撮影(画角は右図参照)。
利用者がいないときは撮影をする必要はなく、記録のみとする。

調査が完了したら、次の調査員にデジカメ及び調査票バインダーを引き継ぐ。

11時台	11:27~11:37
12時台	12:25~12:35
13時台	13:27~13:37
14時台	14:29~14:39
15時台	15:01~15:11
16時台	16:10~16:20

△調査時間

アクティビティ調査票【R7年度荒尾駅前社会実験】

【調査時間】 : ~ :

【調査者】

- Figure 1 is a detailed map of the station area. It includes a legend in the bottom left corner with the following items:

 - Red box: イベントエリア (飲食スペース) - Event Area (Food Space)
 - Pink box: イベントエリア (出店者スペース) - Event Area (Vendor Space)
 - Blue line: 歩道 (2.0m確保) - Pedestrian Path (2.0m Guarantee)
 - Blue square: イス・テーブル (全4セット) - Chairs/Tables (Total 4 sets)
 - Yellow circle: カラーコーン - Traffic Cone

The map shows the station platform, tracks, and surrounding roads. The observation point is marked with a red camera icon and a red arrow pointing to it. The map also shows the station platform, tracks, and surrounding buildings.



3. 調査の概要（アンケート調査） ※仮説5、6の検証

5/31 PEANUTS祭出店者アンケート

PEANUTS祭 出店者アンケート

今後のまちづくりの検討の参考とするため、率直なご意見・ご感想等をご回答願います。
提出確認のため出店者名を記載いただきますが、集計上、特定されることはありません。

1. 出店者名 _____

2. 来客組数、売上 ※可能な範囲で具体的な数値をご記入ください。
来客組数()組 売上()円

3. 出店の感想・課題

①来客数や売上に対する所感を教えてください。

例:思った以上の売り上げだった。

②今回、屋外に設置した出店エリアやイス・テーブルエリアについて安全面で気になる点がありましたか？

☐なし
☐あり（ありの場合は下記に詳細をご記入ください）

詳細

③今回、屋外に設置した出店エリアやイス・テーブルエリアで不足していた機能・設えなどありましたか？

☐なし
☐あり（ありの場合は下記に詳細をご記入ください）

詳細

④今後、荒尾駅前にどのように関わりたいですか？

- ☐イベント時にまた出店したい【理由】
- ☐イベントの主催をしたい【理由】
- ☐イベントの運営・企画に関わりたい【理由】
- ☐大石たばこシェアショップで出店したい【理由】
- ☐機会があっても出店したくない【理由】

4. その他、今回の社会実験・PEANUTS祭に関するご意見・ご感想など(自由記述)

ご協力ありがとうございました。

大石たばこシェアショップ出店者アンケート

荒尾駅前歩道利活用社会実験 出店者アンケート

今後のまちづくりの検討の参考とするため、率直なご意見・ご感想等をご回答願います。
提出確認のため出店者名を記載いただきますが、集計上、特定されることはありません。

1. 出店者名 _____

2. 来客数・売上

※5/21(水)～6/13(金)の期間で出店された日付をご記入ください。

※来客組数・売上は、可能な範囲で具体的な数値をご記入ください。

___月___日()	来客組数()組	売上()円
___月___日()	来客組数()組	売上()円
___月___日()	来客組数()組	売上()円
___月___日()	来客組数()組	売上()円
___月___日()	来客組数()組	売上()円
___月___日()	来客組数()組	売上()円
___月___日()	来客組数()組	売上()円

3. 今回、屋外に設置した出店エリアやイス・テーブルエリアについて安全面で気になる点がありましたか？

☐なし
☐あり（ありの場合は下記に詳細をご記入ください）

該当する方の“口”を“■”にしてください

詳細

4. 今回、屋外に設置した出店エリアやイス・テーブルエリアで不足していた機能・設えなどありましたか？

☐なし
☐あり（ありの場合は下記に詳細をご記入ください）

該当する方の“口”を“■”にしてください

詳細

5. その他、今回の社会実験に関するご意見・ご感想など(自由記述)

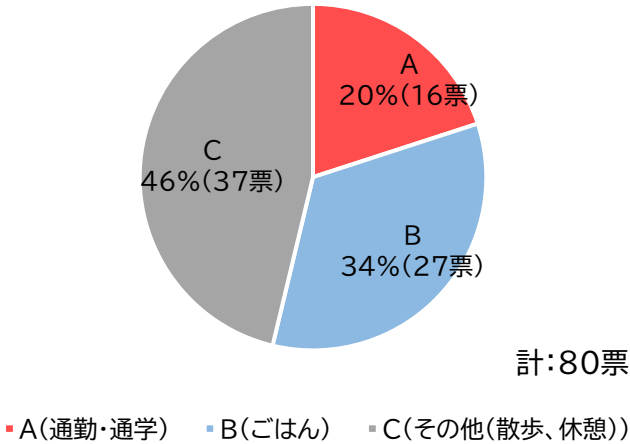
ご協力ありがとうございました。

4. 社会実験期間の様子（PEANUTS祭の様子）

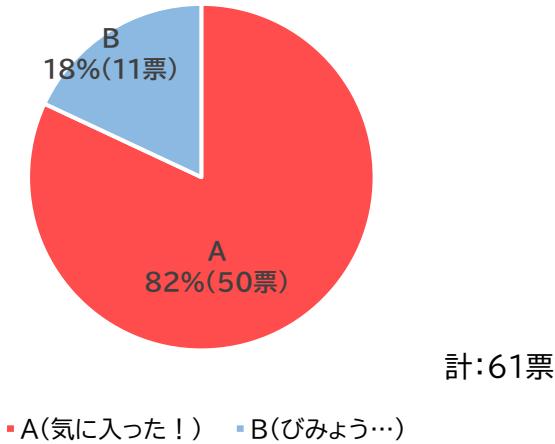


5. 調査結果（投票調査：投票総数141票）

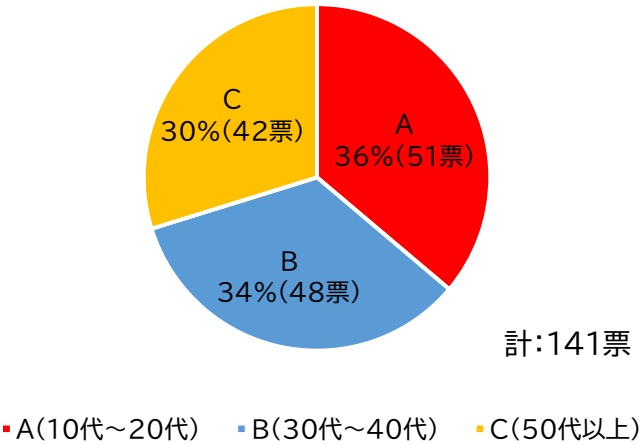
今日はどんな目的で駅前に来ましたか？



この場所のことを気に入りましたか？



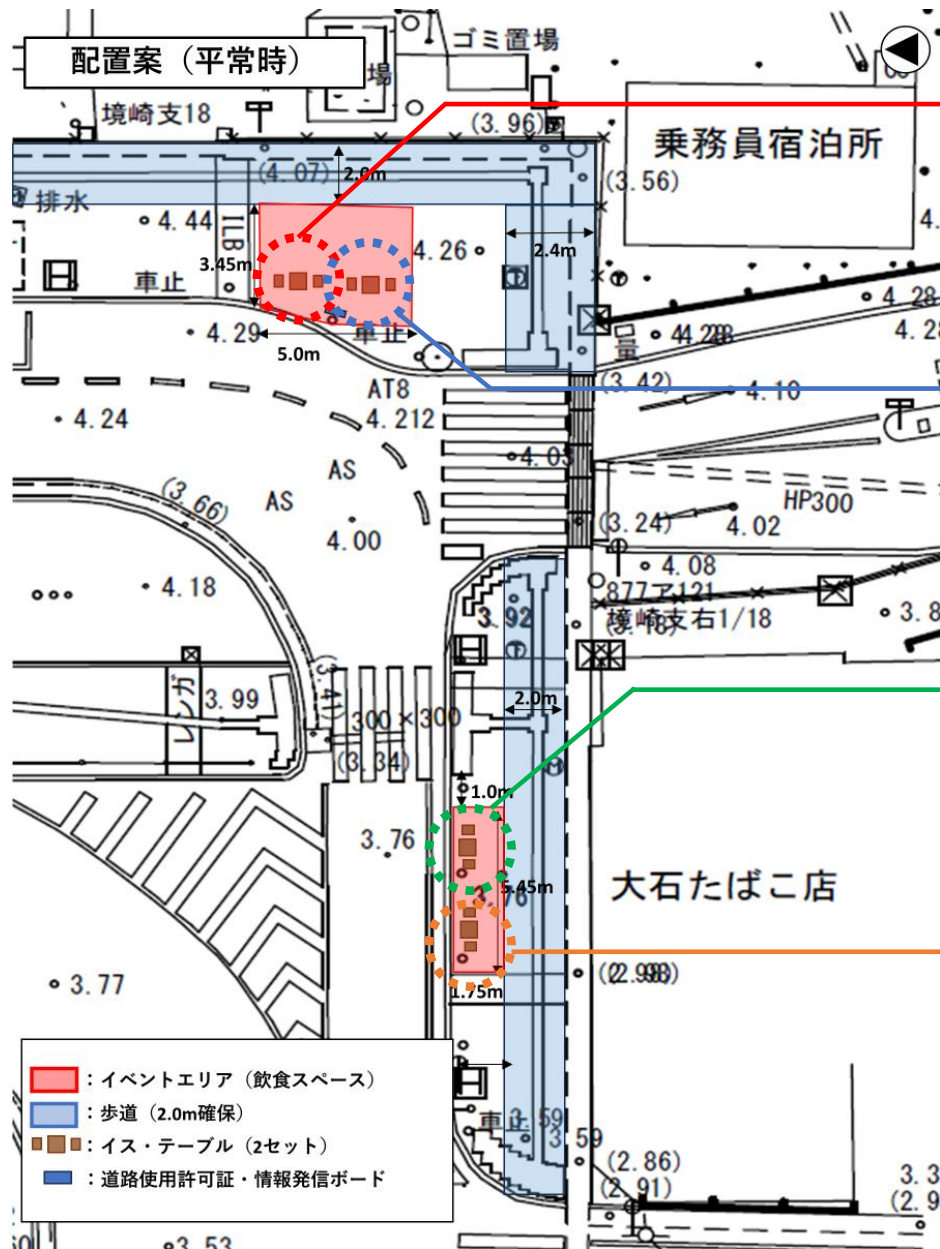
回答者の年代



実際の投票ボードの様子



※投票ボードの一部を掲載



【テーブル①の観察メモ】

- ・投票のみの人がいた
- ・清掃ボランティアの方が休憩
- ・看板の写真を撮っている人がいた
- ・看板を見ていく人がいた

【テーブル②の観察メモ】

- ・看板を見る人は多い
- ・男性二人が飲食で利用
- ・子供連れの親御さんが休憩で利用
- ・UDC大牟田の方が利用(ヒアリング)
- ・煙草を吸っている方が見られた

【テーブル③の観察メモ】

- ・大人1人、子供が2人利用、シェアショップのかき氷を食べていた
- ・友人同士での利用(おしゃべり)
- ・シールのみの利用

【テーブル④の観察メモ】

- ・シェアショップのかき氷を食べていた
- ・ぼーっとしている方1名

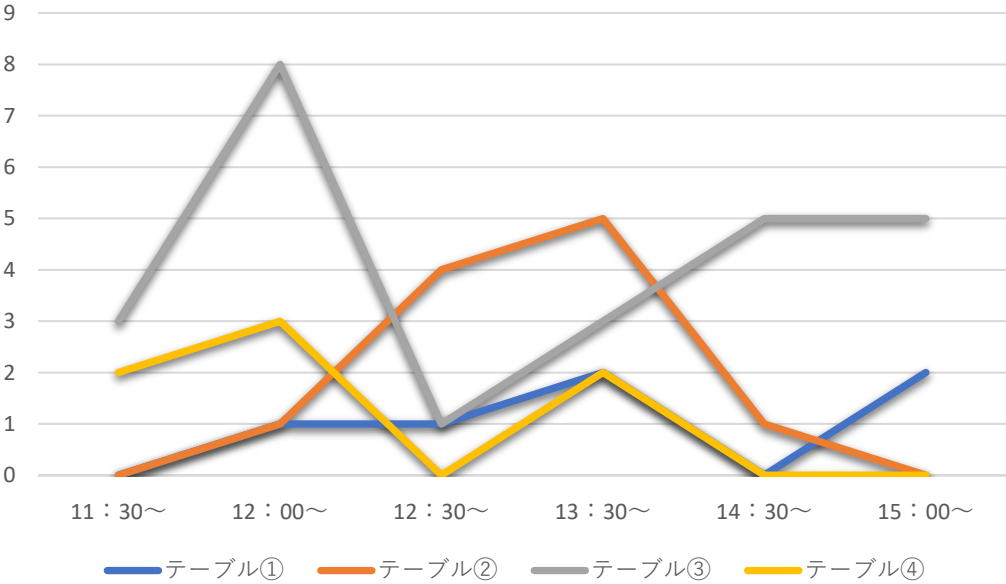
【その他の動き】

- ・花壇レンガのフチに座る学生がいた
- ・電車から降りた人はお迎えの車の利用が多い

5. 調査結果（イス・テーブル利用者数調査）

5/31（土） PEANUTS祭

	テーブル①	テーブル②	テーブル③	テーブル④	計
11：30～	0	0	3	2	5
12：00～	1	1	8	3	13
12：30～	1	4	1	0	6
13：30～	2	5	3	2	12
14：30～	0	1	5	0	6
15：00～	2	0	5	0	7
計	6	11	25	7	49

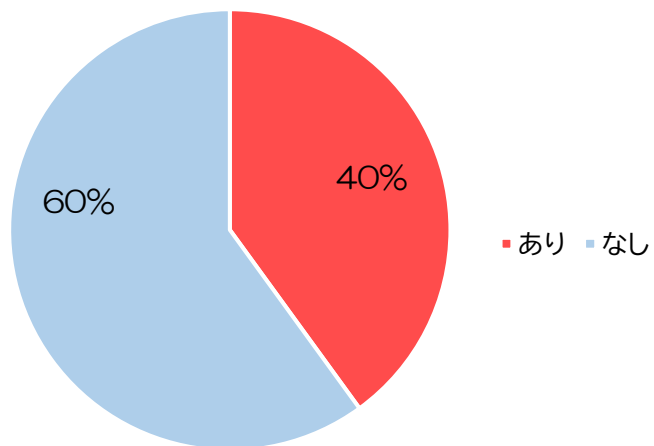


5. 調査結果（PEANUTS祭出店者アンケート：5者）

来客数や売り上げに対する所感 ※仮説7の検証

- ・想像以上の売り上げと来客数だった。
- ・買いそびれの方が少なくて良かった。
- ・子供連れやファミリー層が多く、活気があった。来客数も多く、出店して良かった。
- ・思った以上に売れた。
- ・来客数の多さにびっくりした。思った以上の売り上げだった。
- ・もう少し販売出来たら良かった。

安全面の課題があったか？ ※仮説1の検証

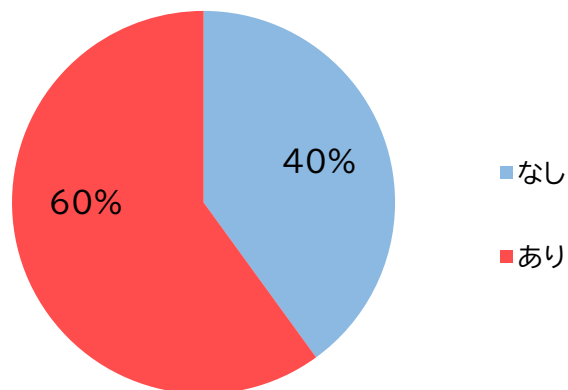


【課題ありと回答した理由】

- ・店前に柵がないため、子供たちが飛び出さないか心配だった。
- ・カラーコーンを置いてもらって良かった。
- ・風が強くて商品が飛んでしまう場面が多々あった。

5. 調査結果（PEANUTS祭出店者アンケート：5者）

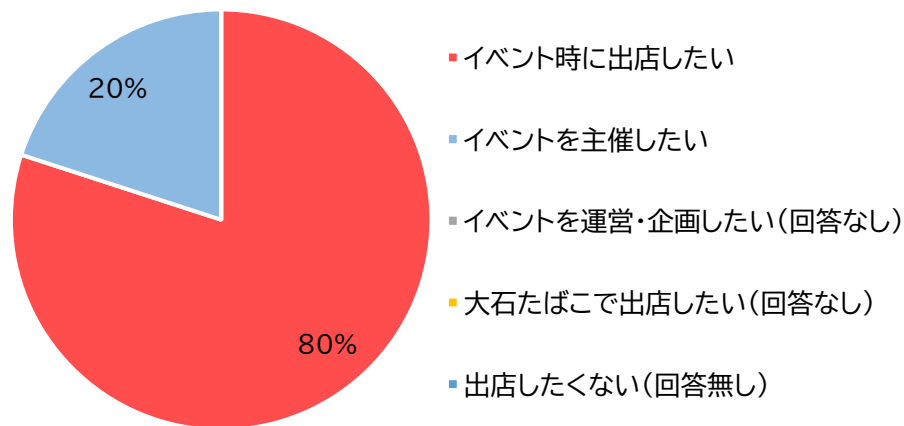
不足していた機能・設えがあったか？ ※仮説6の検証



【ありと回答した理由】

- 日陰があるとお客様に喜ばれると感じる。
- タープのように上につけて日陰を作れるものがあればありがたい。
- パラソル（日よけできるもの）があれば嬉しかった
- 日陰のテーブルイス
- 囲いのある場所（子供たちが遊べる場所）

駅前におけるイベント実施時の関わり方 ※仮説6の検証



【イベント時に出店したいと回答した理由】

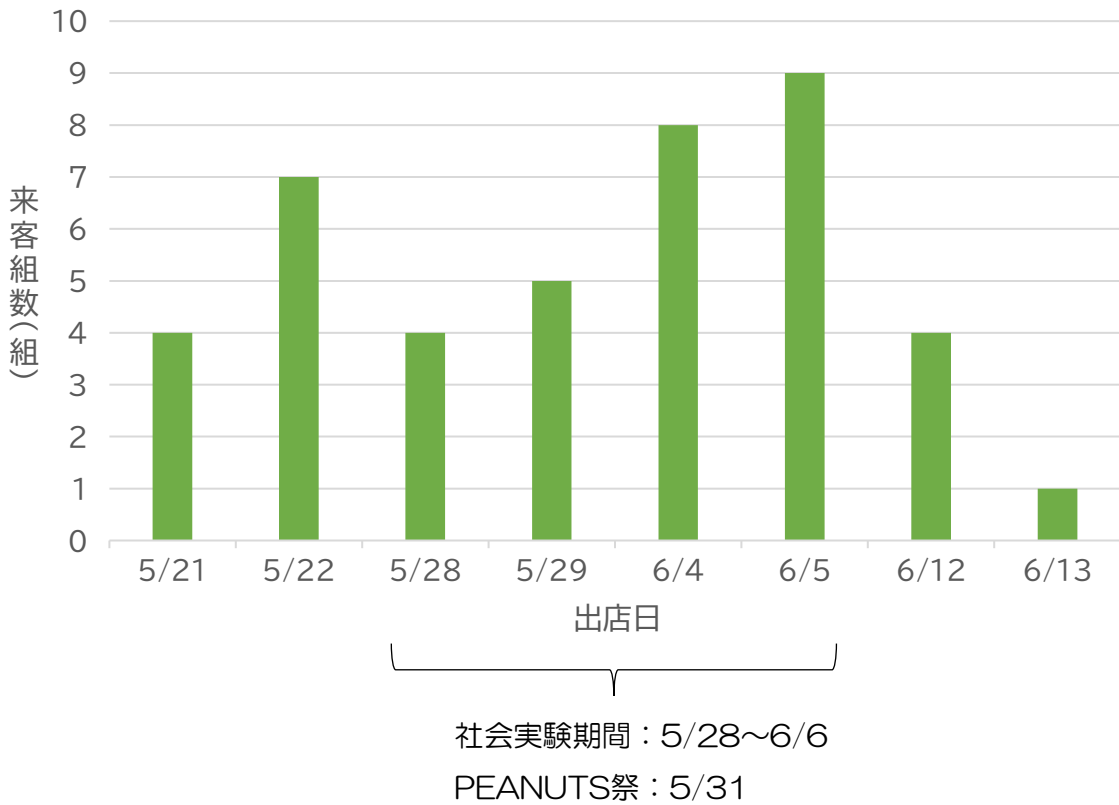
- 販売を始めて間もないので、出店できる機会があれば嬉しい。
- いろんな繋がりができて楽しかったから。

【自由記述】

- また次もイベントを開催してほしいという声が多かったので、気候が良い季節にできたらと考える。
- 土日以外でどのくらい集客できるか興味がある。
- 楽しかったです、ありがとうございました！
- 楽しかった、ぜひまた開催してほしい。

5. 調査結果（大石たばこシェアショップ出店者アンケート：1者）

社会実験実施期間の前後において、大石たばこシェアショップへの来客組数に変化があったか確認



アイス・テーブル設置なし
来客組数：16組

63%増

アイス・テーブル設置あり
来客組数：26組

日付		天気	売上（円）
5/21	水	曇のち晴れ	売上結果については非公開といたします。
5/22	木	曇	
5/28	水	曇のち晴れ	
5/29	木	曇りのち雨	
6/4	水	晴	
6/5	木	晴	
6/12	木	雨	
6/13	金	雨	

6. 仮説に対する評価

仮説（確認したいこと）

テーマA：交通への影響	評価指標	結果
仮説1：歩道が十分確保され、歩行者が安全に通行できるか？ （歩道幅は2.0mで十分か、歩行者の動線は安全か…等）	①危ない場面の有無 ②車道を歩く人の有無	①②ともに確認された
仮説2：車両の駐車場の出入りに影響がないか？ （イス・テーブルが支障になっていないか）	①駐車場契約者からの苦情の件数（件） ②目視による確認（件）	①②ともに確認されなかった

評価

仮説1

- ・ イベント時は歩道に人が滞留し、歩行者が歩きにくいケースがあった。
 - ・ イベント時と平常時いずれも車道を歩く人がいた。
- 安全対策の必要性が確認された。

仮説2

- ・ 同様の実施形態であれば車両の出入りに影響はない。

6. 仮説に対する評価

仮説（確認したいこと）

テーマB：にぎわいの創出	評価指標	結果
仮説3：平日、休日、イベント時における滞在空間が利用されるか/時間帯/目的/活動の特徴を把握する。 活動例）イス・テーブルで飲食、電車バス待ち、休憩、おしゃべり・・・等	①利用者数（人） 活動数（％）	イベント：64人/日 平常時：7人/8日 会話：52.3% 飲食：46.1% スマホ：1.5%
	②利用目的ごとの 投票数（％）	通勤・通学：20% ごはん：34% その他 （散歩・休憩）：46%

評価

仮説3

- ・イス・テーブルについては日常時での利用はほとんど見られなかった。（歩く人の少なさや主動線上への配置していないこと、座りたくなる設え・工夫が足りなかったことが考えられる）一方、イベント時では店舗と連携の効果もあり、利用が見られた。
- ・利用の中心は「会話」や「飲食」などで、複数人での利用が多くみられ、一人での利用はほとんど見られなかった。

6. 仮説に対する評価

仮説（確認したいこと）

テーマC：活動の仕組みづくり	評価指標	結果
仮説4：来訪者がイス・テーブル設置エリアを気に入ったか？	来場者の満足度（％）	「この場所を気に入った」という回答が80％
仮説5：イス・テーブル設置により周辺店舗の売上に効果があったか？	来客組数、売上の変化（％）	来客組数63％増
仮説6：今後の出店・関与の可能性（新たな関係者の発掘、関わり方）	関与の可能性の有無（％）	次回イベントの出店希望100％

※売上結果については非公開といたします。

評価

仮説4	・ イス・テーブルの設置について、駅前利用者から好意的な意見が多く得られた。
仮説5	・ イス・テーブルの設置がない時よりもある時の方が売上及び来客組数が多かった。 （天気等の他の要因も考えられるため、イス・テーブル設置による効果か不明）
仮説6	・ 前回のイベントとは異なる主催者・エリアでの実施となり、駅前における新たな人材の発掘ができた。 また、出店者も前回と異なる方に参加いただき、新たな関係者との繋がりが生まれた。

6. 仮説に対する評価

仮説（確認したいこと）

テーマC：活動の仕組みづくり	評価指標
仮説7：スケジュールに基づき円滑に事務局業務を行えたか？ （時間を要した部分があったか）	前回からの改善点、課題の把握
仮説8：手続きに必要な資料のフォーマット化ができたか？	必要な資料の作成ができたか

評価

仮説7

- ・ 実施に当たり、駅周辺の関係者（警察、バス・タクシー事業者等）にも理解をいただき、スムーズに協議を行うことができ、予定通りの日程で開催できた。
- ・ スケジュール上で余裕がなかった箇所もあり。

仮説8

- ・ 今後の駅前広場におけるイベントや社会実験で参考となる資料（スケジュール、協議者リスト、申請様式等）を取り纏めることができた。

8. 駅前広場歩道利活用社会実験 まとめ

荒尾駅前社会実験

活動の創出

○わかったこと

- ・日常的な利用はあまり見られなかった
- ・イベント時において、一時的な滞在空間としての役割を果たした

◎これから

使ってもらえるような工夫を考えていく必要がある
引き続き、社会実験やイベントを通じて、様々な使い方を検証してみる

活動の仕組みづくり

○わかったこと

- ・出店者からは今後もイベントの開催を企画したいという声が上がった
- ・継続的に行うことで、準備や実施までの作業効率が上がった

◎これから

今回、事務局が行った準備・手続き・運営などを振り返り、更なる効率化、
地域の人が自発的に活動できるような環境作り

施設整備

○わかったこと

- ・イス・テーブルを置くだけでは利用にはつながらない
- ・バス・タクシーや送迎待ちの人などの一時的な利用の可能性は見られた

◎これから

人が滞留する空間形成のための設えや広場の配置検討や社会実験が必要

荒尾駅前の将来像

市民による
自発的な
活動が起こる

活動の創出
及び活動自体
が持続的
となる

活動の実現
に適した
フィールド
がある